

県内の改憲右派勢力へ(2) 構成団体と「靖国」派議員(上)

1. 運動センターと構成団体 (「人づくり県民ネットワーク」および各構成団体のホームページなどから作成)

人づくり県民ネットワーク



(山田昭二代表、事務局長・佐々木薫新潟市議。中学校社会科教科書の従軍慰安婦問題の記述削除と改定勧告の陳情運動を契機に「教育のあり方に疑問を持たれる県民の声を広く結集」するとして、改憲右派の県民運動センターづくりを狙い1996年設立。「日本の文化と伝統を愛し、日本人の倫理と道徳を守り、誇りある日本をよみがえらせる」「日本の歴史を正しく認識し、先人を敬う心を育成する」ことを活動目的に掲げる。憲法守れの国民世論に追い込まれた改憲右翼団体の総本山「日本会議」の、「拠点となる地方組織づくり」(新憲法制定議員同盟方針)に呼応して、他の都道府県にもまして動きが活発。((1)「靖国」派市民団体の動向(上・下参照)。北朝鮮拉致問題の解決と憲法九条「改正」をリンクさせた取り組みはその一例。

「友好団体」とよぶ構成団体は少なくとも24団体あり、各団体構成員が複数の団体に加盟している例も少なくない。同ネットの「委員10人」の氏名・会員数とも非公表。過去の日本の戦争は正しかったと歴史の事実を歪める戦争観のみならず、戦前・戦中の日本社会を美化する歴史逆行の国家観とその「再建」を求める「靖国」派の異常な立場に立つ。「自虐的な歴史教育」「男女平等教育」「自治基本条例」などをやり玉にあげ、皇国史観を良き伝統として擁護する。地元右派メディアの月刊雑誌は、同ネットの事実上の広報機関。

<構成団体>

- 日本会議新潟県本部(本部長＝榎田勝亦自民党県連顧問)
- 日本会議新潟支部●日本会議長岡支部
- 日本会議阿賀北支部(中村五郎代表)
- 日本会議にいがた女性の会
- 新しい歴史教科書をつくる会新潟県支部(支部長＝平野孝国新潟大名誉教授、事務局長・佐々木薫新潟市議。佐々木氏は元青年自由党本部職員で、99年に森ゆう子事務所(勤務))
- 日本青年会議所新潟ブロック協議会
- 新潟の教育をよくする市民の会(代表＝長谷川清長元白根茨曾根小学校校長)
- 男女混合名簿・男子さん付け廃止の会新潟(長谷川清長代表)
- 新潟市政を考える会(代表＝馬場吉衛・拉致日本人救う会新潟会長)
- NPO明日の教育を考える市民の会(新発田市)
- NPO新潟海難救助隊(理事・隊長＝水野孝吉救う会新潟幹事・右翼団体時局対策局長)
- 日本西村眞吾の会新潟支部
- 日本神話伝承の会新潟県支部
- 明日の新潟県を考える地方議員連名(代表＝三井田孝敬柏崎市議)
- 有限責任中間法人戦史資料館(本里福治館長＝佐々木薫新潟市議後援会員)
- 万景峰号の入港を阻止する会(事務局所在地は、戦史資料館長・本里氏と同性の人物宅)
- 日本近現代史を学ぶ会(代表＝小林功一氏、小林義典・長岡市立小学校教諭)
- 新潟時局研究所(所長＝水野孝吉新潟海難救助隊長・右翼団体時局対策局長)
- 防衛を考える青年の会
- 国旗・国歌に関する教育行政を支援する会
- 県高校教育正常化推進会議
- 新潟素行会

2. 日本会議地方議員連盟加盟正会員の新潟県関係者(同連盟ホームページ「草莽崛起」、敬称略)

【県議】小野峯生(自民・村上市岩船郡)、片野猛(同・同)、青木太一郎(無所属・新潟市西区)、小島隆(自民・新潟市中央区)、中原八一(同・新潟市西区)、渡辺惇夫(同・新潟市東区)、帆刈謙治(同・阿賀野市)、富樫一成(同・胎内市)

【市町村議】佐々木薫(新潟市中央区)、吉田久美(同)、若林国昭(同)、佐藤豊美(同・東区)、加藤尚登(長岡市)、小熊正志(同)、酒井正春(同)、関 正史(同)、大地正幸(同)、丸山勝総(同)、佐藤宮吉(村上市)、三井田孝敬(柏崎市)、小林克美(上越市)、久住久俊(三条市)、杉井 旬(同)、西川重則(同)

【日本会議地方議員連盟の運動方針】

『誇りある国づくり』を掲げ、皇室・憲法・防衛・教育等の課題に取り組む日本会議と連携し、地方議会を拠点に次の運動を展開するー①改正教育基本法に基づき、国旗・国歌、日教組、偏向教科書問題などの教育改革に取り組む、②青少年健全育成、ジェンダーフリー思想から家族の絆を守る運動を推進する、③議会制度を破壊しかねない自治基本条例への反対など保守の良識を地方行政に働きかける

